

金屋小だより

ながるるごとき自彊もて

令和4年9月15日

NO. 5

TEL 62-2050

「ともに育てる」との大切さ

校長 小池 秀樹

長い夏休みも終わり、二学期がスタートしてから、半月以上たちましたが、保護者並びに地域の皆様は、いかがが過ごしていただでしょうか。まだ時おり暑い日もありますが、お身体を大切にし、健康には十分に御留意ください。

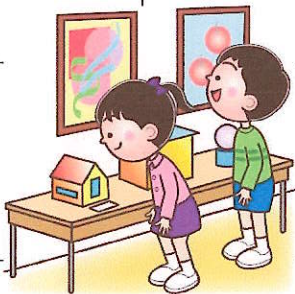
さて、**近年、家庭でしつけるべきことまで学校に任せているという話をよく耳にします。箸の持ち方から食事のマナーにいたるまでいろいろです。保護者・地域の皆様は、どのようにお考えですか？**そもそも、箸の持ち方がきちんとできていると、鉛筆の持ち方も正しくなります。なぜなら、箸を持った状態から下の箸を引き抜くと、正しい鉛筆の持ち方になるからです。ということは、家庭できちんと箸の持ち方がしつけられていると、一年生になってからも正しい鉛筆の持ち方が容易にできるようになりますという結論になります。何が言いたいかというと、**教師が悪い、親が悪いということではなく、学校と家庭の両方で、共に子どもを育てていかないと、結局は子どもたちのよりよい成長は期待できず、子どもにとっても、非常に残念な結果になってしまうということ**です。一年生になると、国語の時間に正しい鉛筆の持ち方を習い、正しい姿勢で文字を書く練習をします。最初のうちは、くねくねの曲線やまっすぐに線を引く練習から入ります。その後、ひらがなや簡単な漢字を学ぶという具合です。当然一年生の担任は、正しい鉛筆の持ち方を指導し、間違った持ち方をしている子には、こまめに注意をします。ただ、家庭で、あるいは保育園等で、間違ったままの持ち方で、字を書いていると、その持ち方に慣れてしまい、なかなか直りません。近年は正しい鉛筆の持ち方になるような補助具もありますが、やはり**家庭の協力なしではなかなか直せません**。激動する今日の社会、これからは、学校だけ、家庭だけの力では、なかなか思うような教育的効果は望めません。学校と家庭とが連携を密にし、**子どもの様子を語り合い、情報を交換し、その子に合ったしつけ・指導**をしていくではありませんか。当然、学習内容の定着も授業中の指導だけでは無理な子どももいます。そのような場合は、その子に合った宿題の出し方を工夫しなければなりませんし、家庭での声かけや学習時間と場の確保も必要になります。保護者の皆様も御多用のことと思いますが、ぜひ御自分の仕事の種類や自分の子どもの性格、働きかけ方やかける時間、場所、タイミング等、今一度日常生活を振り返り、改善できることはないかを考えていただけないでしょうか。**すべては、我が子のため**です。よろしくお願いいたします。二学期は行事も多く、学校・親子共々とても忙しくなりますが、その分充実した時を過ごせる学期でもあります。保護者の皆様、地域の皆様、何卒、今後も金屋小学校の教育活動に對しまして、今まで以上の御支援と御協力をよろしくお願いいたします。



10月の行事予定



村上市立金屋小学校

日	月	火	水	木	金	土
						1 6学年PTA 行事
2 スクールカウンセ セラー勤務 全校読み聞かせ	3	4 フッ化物洗口 就学時健診(5年生手洗い) 1~4年・6年授業4限・ 給食後下校	5 朝学習GT 青空マラソン大会 委員会活動 1学年・3学年PTA行事	6 全校朝会 6年村上中等・荒川 中学校説明会5限	7	8
9	10 🍁スポーツの日	11 フッ化物洗口	12 朝学習GT 全校テスト：国 語 クラブ活動	13 全校テスト：算 数	14	15
16	17 知・徳・体トリプルアッ プ週間(～23日) 低学年読み聞かせ 預り金振替日	18 フッ化物洗口	19 朝学習GT 委員会活動	20	21	22 (荒川中文化祭)
23	24	25 フッ化物洗口	26 朝学習GT クラブ活動	27 Q-U2回目	28 文化祭前日準備 (4～6年) 1～3年授業4限・給食後 下校	29 文化祭
30 文化祭の振替休 日	31					

【11月の主な予定】

1日 文化祭片付け

2日 委員会活動

4日 全校朝会

7日 スクールカウンセラー勤務

低学年読み聞かせ

9日 全校テスト：国語

クラブ活動(3年生見学)

10日 冬季スクールバス運行開始

全校テスト：算数

14日 知・徳・体トリプルアップ週間

21日 スクールカウンセラー勤務

22日 小教研指定研究発表会

28日 低学年読み聞かせ

1学期「学校評価」の児童・保護者アンケートの結果について

1学期末に行いました「学校評価」の児童及び保護者アンケートの主な項目の結果について、お知らせします。

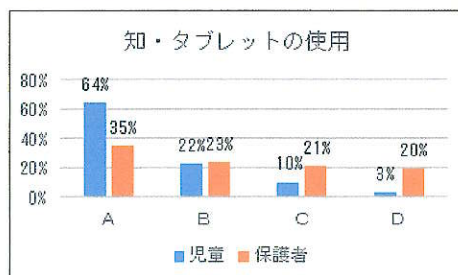
A…あてはまる B…まあまああてはまる C…あまりあてはまらない D…あてはまらない

1 知育

(1)「タブレットの使用」について

児童：タブレットを使って「自分の思いや考えを表した」「友だちと伝え合うことができた」と感じることができる。

保護者：お子さんは、家庭でタブレットを有効に活用している。



児童については、学校では肯定的回答を80%以上を目標にしていますが、86%でそれを上回る結果となりました。一方、家庭での使用については肯定的回答が58%で大変低い状況にあります。(タブレットを使用する部面が違うので児童と保護者を比較することはできません。)

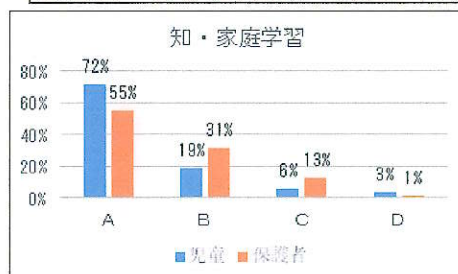
学校では目的に応じて、さまざまなアプリケーションソフトを使っていますが、家庭の使用は学習のためだけではないようです。

これからも、タブレットの有効活用の方法を探っていきたいと思います。

(2)「家庭学習」について

児童：毎日、家庭学習(学年×10分)をしている。

保護者：お子さんは、毎日学年×10分の家庭学習をしている。



児童の肯定的回答は91%で、保護者のそれは86%となっています。いずれも良好な状態にあります。学校で学習した内容の定着を図るうえでも家庭学習は重要です。

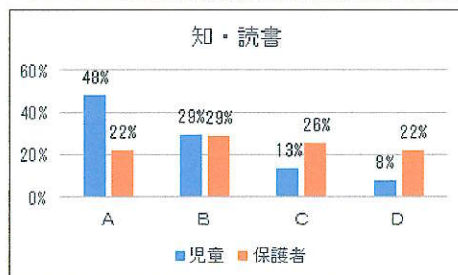
毎日欠かさず家庭学習ができるようにこれからも指導をしていきたいと思っています。

ところで、児童アンケートの「毎日、自主学習(宿題以外の学習)をしている」という設問の肯定的回答は75%で、家庭学習に比べるとかなり低くなっています。宿題以外の学習が家庭でできるように、具体例を提示しながら、今後も指導していきたいと思っています。

(3)「読書」について

児童：毎日、読書をしている。

保護者：お子さんは、毎日家で読書をしている。



肯定的回答は、児童で77%、保護者で51%となっています。毎朝図書室で本を交換している子どもの姿をたくさん見かけ、図書館の利用率は高いように見えますが、毎日読書をするのは全校の4分の3と意外に低くなっています。保護者アンケートの結果からは、子どもが家庭ではあまり読書をしていないのがうかがえます。

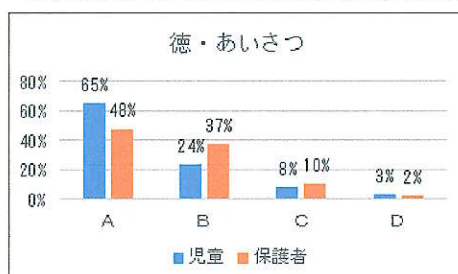
夢絵本☆野いちごの皆様による読み聞かせ及び図書室前の掲示物等の定期的な入れ替えや図書館司書による図書の整理など、環境面では揃っていますので、児童が読書に親しむような取組を進めたいと思います。

2 徳育

(1)「あいさつ」について

児童：自分から進んであいさつをしている。

保護者：お子さんは、家族や地域の方に自ら進んであいさつをしている。

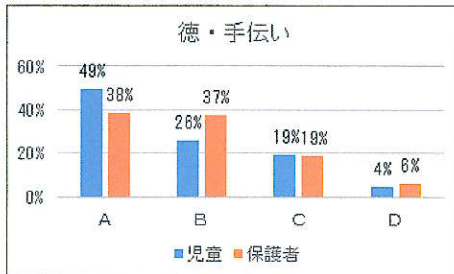


学校では、運営委員会によるあいさつ運動、各学年によるあいさつの取組を行ってきました。その成果もあってか、児童の肯定的回答は89%と高くなっていますが、学校が目標とした90%を若干下回ってしまいました。一方、保護者の肯定的回答は75%と児童と比べ低くなっています。これは、家庭や地域でのあいさつがあまりよくできないということだと思います。ただ単に「あいさつをしろ」とではなく、なぜあいさつが大切なのかを理解させた上で、あいさつができるような取組を進めていきたいと思っています。

(2)「手伝い」について

児童：毎日、家で手伝いをしている。

保護者：お子さんは、毎日家で手伝いをしている。



肯定的回答は、児童で75%、保護者で76%とほぼ同じになりました。全体の4分の3の児童は毎日手伝いをしていることになります。

学校では、家で〇〇の手伝いをしなさいとは言えません。なぜなら、家庭によって状況が違い、手伝いできることと手伝いできないことが違うからです。

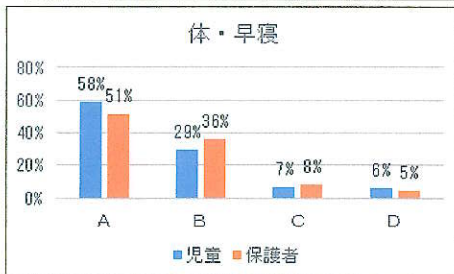
各家庭では、許させる範囲で手伝いをさせていただきたいと思います。できれば、知・徳・体トリプルアップ週間での手伝いがこの期間だけではなく、日常的にできるようになればと思います。

3 体育

(1)「早寝」について

児童：早寝をしている。(低学年は9時まで、中学年は9時30分まで、高学年は10時までに寝る。)

保護者：お子さんは、早寝ができています。



人間の生体リズムは、脳が毎朝、太陽の光を視覚で認識することによって調整しています。これを毎日同じ時間に繰り返していると、脳が認識し、次第に自然な目覚めと共に、昼間に活発な「からだ」「あたま」「こころ」の働きが促されるようになります。また、成長に欠かせないホルモンも、このリズムに沿って分泌されるようになります。寝不足や不規則な睡眠リズムは、こうした物質の分泌に影響を与えてしまい、心身の健康を損なう恐れがあると指摘されています。(文部科学省による)

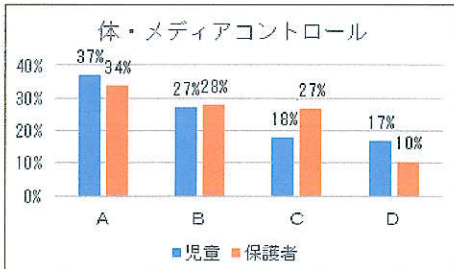
児童、保護者共に85%を超え、良好な状況にあります。これからも

早寝を励行して欲しいと思います。

(2)「メディアコントロール」について

児童：学習以外でのメディア使用時間1日2時間以内、ゲーム30分以内ができています。

保護者：お子さんは、学習以外でのメディア2時間以内、ゲーム30分以内ができています。



肯定的回答が児童では64%、保護者では62%と、いずれも低い状況にあります。この項目については、昨年度との比較でもいずれも低くなっています。(昨年度は、児童74%、保護者66%)子ども達の生活の中で、メディア及びゲームの占める割合が非常に高くなっているのうかがえます。

子ども達の中からは、オンラインゲームに興じているという声がしばしば聞かれます。このオンラインゲームは、ゲームの終わりがなく、画面の向こう側にいる人との競争や仲間意識が生まれるため、自分で自分をコントロールできなくなり、依存してしまう可能性が高い仕組みになっていると言われています。

今ではゲーム依存症(障害)は病気です。(2019年に世界保健機関(WHO)が認定)そうならないためにも、メディアを自分でコントロールできるようにしなければならないと思います。

4 「気になること・要望等」について

「気になること・要望等」として、たくさんの様々なご意見をいただきました。それら全てにお答えすることはできませんが、現段階で答えられるものについてお答えします。

○「タブレット端末を毎日持ち帰る必要があるのか。」

⇒県及び市教育委員会から、臨時休業等に備えた児童生徒の学びの保障のために持ち帰りをするように指導を受けています。また、出席停止でも授業が受けられるときはオンラインで授業を受けることがあります。タブレット端末の持ち帰りについては、担任の判断で学校に置いていく場合もあります。家庭ではドリルパークで練習問題を行うことができます。学習内容の定着のために活用してほしいと思います。

○「鉛筆の持ち方を今一度ご指導ください。」

⇒鉛筆の持ち方については日頃から指導していますが、なかなかよくならない状況です。これからも根気強く指導していききたいと思います。

○「運動会のプログラム、文化祭、授業参観等の案内を紙で配ってもらえたらありがたい。」

⇒ペーパーレスを図る観点から案内等で可能なものは金屋メールで配信しています。必要な方はお子さまを通じて学校にご連絡ください。紙ベースのものを配付します。

○「ランドセルの中身が重く、毎日かついで歩くことで肩など身体に負担が出ないか心配です。」

⇒国語と算数は毎日持ち帰りをしていますが、それ以外の教科の教科書・ノートは学校に留め置きしている学級がほとんどです。ランドセルがあまり重くならないように学校としても気をつけたいと思います。